隔月誌（平成31年1月発行）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション

かなえるレター

KANAERU LETTER

新年明けましておめでとうございます！



今号の表紙　木村 詠美さま

「紙の魚」

vol.35 2019

何事も前向きに楽しんで取り組まれる詠美ちゃん。手先も器用になってきて、出来上がる作品も平面から立体へと変わってきました。想像力も豊かなので、いつも驚くアイデアで作品作りを楽しまれています。

担当: 作業療法士　高島

かなえる TOPIC-01

株式会社かなえるリンク「新年のご挨拶」

株式会社かなえるリンク
代表取締役　谷　隆博



新年明けましておめでとうございます。新春を迎え、皆さまいかがお過ごしでしょうか。また、平素より、当社サービスをご利用いただき、ご家族・関係者の方々にはご支援・ご協力いただき厚くお礼申し上げます。

昨年は、災害の多い年となり大阪府下においても大阪府北部地震や台風21号による被害があり、現在も完全には復旧されていない地域も多く、被害にあわれた方々には心より御見舞申し上げます。また、平昌五輪・平昌パラリンピックが開催された年でもあり、私たちを勇気づける明るいニュースもありました。今年は、災害のない平和な年であってほしいものです。

弊社は、子会社として看護職中心とする『株式会社こみけあリンク』を昨年10月に設立致しました。今までの訪問看護事業を基盤とし、看護小規模多機能型居宅介護を河内長野に開設します。法人設立当初より地域から求められ、地域に根差したサービスを提供して参りました。こみけあリンクでも、河内長野に貢献できるよう看護職を中心としてサービス提供に邁進する所存でございます。法人全体としても、看護、リハビリ、介護、栄養など専門職が協業して、多様なサービス提供できるよう努めて参りたいと存じます。

本年がよりよい年となりますよう心よりお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

かなえる TOPIC-02

2018年「かなえるプラス勉強会」

株式会社かなえるリンク
教育研修課 課長　門田 淳志

12月9日、「かなえるプラス勉強会」を開催しました。今年は一年を通して、「発信力」と「コミュニケーション」をテーマに社員による学会発表や様々な社内研修を実施しました。

スタッフから、LINE WORKS（ラインワークス）というツールの使用について、「スタッフ間の情報共有が密になり、ご利用者一人に対して複数で担当する場合の連携が円滑になった。地震や台風など災害時でのスタッフの状況や交通情報も共有できた」という事例を発表。

また、株式会社東京リハビリテーションサービスから講師をお招きし、「ありがとう」や「助かりました」など相手への気遣いを忘れない『声掛け』の必要性や、旅行や食事会など、『スタッフ同士がゆっくりと話せる場』をつくることで「悩みを話しやすくなったり、アドバイスもしやすくなる」という事例をご講演いただきました。

弊社は、ご利用者、地域社会、社員や家族のために今後も研鑽を積み重ね、会社、個人が日々成長できる会社を目指していきます。



かなえるプラス勉強会の様子

新年明けましておめでとうございます。みなさま、平成最後のお正月をどのように過ごされましたでしょうか。おかげさまで私たちも良き新年を迎えることができました。『かなえるレター』は昨年に引き続き、ご利用者、地域の皆さまに寄り添い、たくさんの情報をお届けしていきます。2019年が素晴らしい年になりますよう、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。本年も何卒よろしくお願いいたします。



編集者　広報課　川口 智之

かなえるリハビリ訪問看護ステーション
〒550-0015
大阪府大阪市西区
南堀江1-16-15
名城ビル4階D号室
TEL 06-6531-3500
FAX 06-6531-3510

ご利用者数（H30/12/17時点）

介護保険…	934名
医療保険…	477名
その他　…	4名
計	1,415名（社員数114名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション河内長野
〒586-0048
大阪府河内長野市
三日市町240-1
三日市グリーンハイツ103号室
TEL 0721-63-3355
FAX 0721-63-3377

ご利用者数（H30/12/17時点）

介護保険…	172名
医療保険…	53名
その他　…	1名
計	226名（社員数20名）

かなえるリハビリ訪問看護ステーション都
〒604-8375
京都府京都市中京区
西ノ京池ノ内町19-11
御池KSビル202号室
TEL 075-803-0536
FAX 075-803-0537

ご利用者数（H30/12/17時点）

介護保険…	240名
医療保険…	64名
その他　…	0名
計	304名（社員数22名）

ご利用者からの”投稿募集”



かなえるレターではご利用者の投稿を募集しています。あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか？詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

かなえるリンク　検索

栄養 豆知識

体温の低下は免疫力の低下

冬場は体が冷えやすく、体温の低下は免疫力も低下させます。
ご自宅で元気に過ごして頂けるよう、電子レンジでできる簡単レシピを紹介します。
お豆腐を使用しているので、軟らかく介護食にも利用しやすいメニューです。



管理栄養士
江星（えぼし） 瑠璃（るり）



「豆腐と卵のふわふわ蒸し」

エネルギー:172kcal　たんぱく質:14.8ｇ　脂質:9.8ｇ　炭水化物:4.7ｇ

【材料】
- 絹ごし豆腐　---150ｇ
- 卵　---1個
- 顆粒だし　---小さじ1/2杯
- めんつゆ　---50ｍｌ
- 片栗粉　---小さじ1/2杯
- おろし生姜　---小さじ1/2杯

①ボウルに絹ごし豆腐、卵、顆粒だしを入れ、泡だて器で滑らかになるまで混ぜ合わせます。（お好みでカニ風味かまぼこ等混ぜ合わせても美味しいですよ。）

②ラップを敷いたお椀に①で作った生地を流し入れ、ふんわりとラップをして500Wの電子レンジで約5分加熱します。加熱が終わったら、深めの器にひっくり返しておきます。



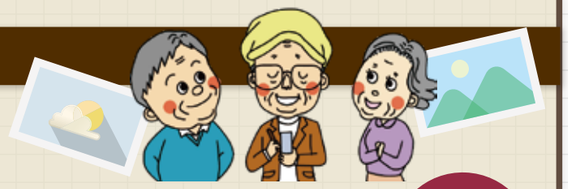


③耐熱容器に、めんつゆ・片栗粉・おろし生姜を入れて混ぜ、電子レンジで20秒加熱して一度取り出しかき混ぜ、餡をつくります。
（ご家庭のレンジによって加熱時間が異なるので様子を見ながらお作り下さい）

④出来上がった餡をかけて完成です。

http://nutrition.kanaerulink.co.jp　かなえる 管理栄養士 検索

ご利用者「投稿コーナー」



作品 「お料理」

ご家族の手助けを受けながら少しずつ
大好きだったお料理に挑戦できるようになりました。
お料理をしている時が一番いきいきされています。

担当: 作業療法士　藤田
理学療法士　齋藤

大正区
80代 女性
森下さま



オムライス





ちらし寿司



にぎり寿司



親子丼

※あなたの作品をこの紙面で発表してみませんか?
詳細は郵送、FAX、メール、または訪問スタッフまでお問い合わせください。あなたの投稿をお待ちしています。

— ご利用者とともに —



「日常生活」の中での難しいことを「リハビリ」の中に取り入れる

作業療法士　高島

木村 詠美（えいみ）ちゃんは明るく元気な小学3年生
習い事やデイサービスで忙しい日々ですが、いつも笑顔でリハビリに取り組んでいます

「やりたい」を取り入れる

詠美ちゃんは早産で極低出生体重児として出生しました。その後、両側性白質軟化症（PVL）と診断され、1歳よりリハビリを行ってきました。4歳の頃にお父さまのお仕事の都合で、東京から大阪に引っ越してこられたことをきっかけに、当ステーションでの訪問リハビリサービスを開始しました。

開始当初から、人見知りをすることなく、お話が大好きでいつも笑顔の詠美ちゃん。歩行が不安定だったこともあり、サッカーや柔軟、歩行練習等の粗大運動を中心に行っていました。大好きなぬいぐるみを用いることで、本人のやる気もアップ。想像力がとても豊かで、「やりたい」ということが色々出てくるので、それらもリハビリに取り入れるようにしてきました。

「難しいこと」を取り入れる

年齢が上がるにつれ、就学に向けての準備も始まりました。ひらがなを読む練習、書く練習、制服を着る練習、体操服や給食着をたたんで袋に入れる練習・・・。最初は難しい様子も見られましたが、アドバイスをしながら繰り返し行うことで徐々に上手になっていきました。就学後は、学校生活の中で難しいことをリハビリの中でも取り入れるようにしてきました。弊社の「かなえる広場さくら」の保育所等訪問や放課後等デイサービスも利用されているため、そちらのスタッフとも連携を図りながら行うようにしています。







小学3年生になった現在、手先も器用になってきており、漢字やひらがなといった書字も上達してきました。リコーダーはまだ少し難しいようですが、あきらめずに練習しています。また、新しく自転車の練習も始めました。適宜アドバイスや環境設定を行い、こちらも少しずつ上達が見られます。習い事やデイサービスなどで忙しい日々を過ごしながらも、毎回笑顔でリハビリに取り組んでいます。

▸H26.04月	訪問リハビリを開始
▸H28.06月	保育所等訪問を開始
	放課後等デイサービスを開始

その時々で必要な「リハビリ」

今後も進級・進学に伴い、様々な課題が生じてくると考えられます。その時々で必要なリハビリができる様に、他のスタッフとも連携を図りながら、詠美ちゃんの学校生活や日常生活を支援していきたいと思います。

（作業療法士　高島）